

ボキャブラリー編

わからない言葉は、いくら努力しても聞き取れないし、使えない。どうしたら語彙は増やしていけるのでしょうか？
闇雲に覚えるだけの日本式受験勉強式暗記法とはひと味違うお役立ちアドバイスをいただきました。



アドバイザー
ジェレミー・キング先生 青井ゆかり先生
AOI College of Languages

日本人の **ココ** 改善

辞書に頼りすぎる

わからない単語をすぐに辞書で調べてしまうと文脈から推測する能力が育たず、しかもすぐに忘れます。グッと堪えて想像力を働かせましょう。

詰め込み学習しか知らない

単語の勉強と言うと、受験勉強のように丸暗記して詰め込もうとする生徒が多いのですが、「使う」ための学習の仕方がちゃんとあります。

知らない言葉にこだわり過ぎ

ネイティブだって全ての単語や言い回しを知っているわけではありません。知らない言葉があることに自信をなくさないようにしましょう。

UCアーバイン校と提携し、世界各国から留学目的の学生が集まるAOIカレッジ。SATやTOEFLなど、大学入学に向けたテスト対策のプログラムもあることから、ボキャブラリー教育には自信あり。
読み書きや文法はあまりできないのに、話すとともに流暢な生徒が多い国や、日本のように、その逆の生徒が多い国もある。良い悪いではなく、そういう特徴を理解しながら、それぞれに合った語彙習得法を採用することで成長をうながすことができるのだそうです。



ヒント!



ハッピーな気持ちで英語を体験することが学習にとって最も効果的。生活や仕事に密着した、ワクワクできるテーマの情報ソース(本やDVD、テレビ番組)を選んでくださいね。

言葉は使ってこそ身につくもの。ただ単に意味を知るだけでなく、どんな場面で使われるのかと一緒に理解して、単語を「自分のものにする」という感覚でじっくり取り組んでね。



ボキャブラリーを増やすには、知らない言葉にたくさん触れ続けたいなりません。そのためには、やはり読書です。とにかく何でも興味がある分野のもの、小説、ライトノベル、雑誌記事でも大丈夫。大好きな分野のことなら楽しくワクワクしながら読み続けられます。アメリカの学校でも盛んに読書をさせられます。わからない言葉は単語ノートに落としとして習得しましょう。

ネイティブへの道 その2

とにかく読む!

さあ実践! 今日から

ネイティブへの道 その1

単語ノートを作る

そんな昔ながらの方法?と驚くかもしれませんが、単語や慣用句専用のノートを作って復習することが、語彙力増強の最高の方法です。読書やテレビ、日常生活で知らない言葉に遭遇したら、すかさずメモ。後でノートに写して意味を調べ、使われた場面などの周辺情報を記録しておきます。
言葉の学習には反復演習が不可欠。毎晩眺めて復習しましょう。計画はあくまでも現実的に毎週新たな単語は15個程度がオススメ。それでも1年で780個になります。